

第1回西脇市教育振興基本計画策定会議 会議録

開催日時	令和4年8月24日（水） 午後3時30分～午後5時30分
開催場所	西脇市議会委員会室
出席委員の名前又は人数	10人
欠席委員の名前又は人数	1人
出席職員の職・名前又は人数	11人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	2人
議題又は協議事項	(1) 正副会長の選任について (2) 策定スケジュールについて (3) アンケート調査票について (4) 次期教育振興基本計画諮問の概要等について (5) 西脇市教育振興基本計画について
会議の記録（概要）	
発言者	<p>○開会</p> <p>○委員委嘱 ・教育長から委員に委嘱状を交付</p> <p>○教育長あいさつ 国の方向性を踏まえ、西脇市オリジナルの計画を作りたい。そのため、「未来を見据え変化に対応すること」、「わかりやすいテーマにすること」、「教育成果をあげること」の3つの視点を持ってご意見をいただきたい。委員の皆様には、2年間、様々な視点から積極かつ、忌たんのないご意見等をお願いしたい。</p> <p>○委員紹介 ・委員による自己紹介 ・委員11名中10名出席により会議成立の報告</p> <p>○概要説明 ・資料1-1・1-2に基づき説明</p> <p>○協議等</p>

事務局	<p>○議事</p> <p>(1) 正副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局提案により、会長は浅野良一委員、副会長は藤原悟委員にお願いしたい。異議がないようであれば、拍手でご承認願いたい。 (委員一同拍手をもって承認)
会長	あいさつ
副会長	あいさつ
事務局	<p>○議事</p> <p>(2) 策定スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2に基づき説明
会長	ご意見、ご質問等はあるか。以前も教育振興基本計画の策定委員になったことがあるが、今回アンケートを実施する積極的な理由があると思うので、ご紹介願いたい。
事務局	前回第3期計画策定時は1年の検討期間だった。その時は市民の皆様意見を聞いておらず、教育委員会で議論をする中で決めていった経緯がある。今回第4期計画策定にあたっては、2年間かけて市民の意見も聞き取って反映させていくことが良いのではないかと、ということで予算化した。
会長	昨年、芦屋市の教育振興基本計画を策定した。その時もアンケートを取った。我々学校教育の関係者は比較的身近だが、市民の皆様は幅が広い。教育についてどのようなお考えをお持ちか、こういう機会がないとなかなか聞けない。アンケートを取ることに私は賛成である。
事務局	<p>○議事</p> <p>(3) アンケート調査票について</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料3に基づき説明
会長	<p>意見、ご質問等はあるか。私から何点か基本的なことを。1点目は、この類の調査の回収率をこれまでのデータから教えてほしい。</p> <p>2点目は、2,000名の無作為抽出とのことだが、ミニ西脇市になるように地域をまずわけて、あと年代別にもわけて、そこからサンプリングする層化多段抽出とするのか。あるいは、西脇市はご年配の方が多いので、ご回答が難しい場合は何か工夫されるのか。ランダムサンプリングの無作為抽出の方法について、どうお考えなのか。</p> <p>3点目は、全国のデータと西脇市の比較が可能かどうか教えてほしい。</p>

事務局	<p>まず1点目の回収率について。概ね平均すると30から40%になる。高くても40%程度である。2点目の抽出については、基本的にはミニ西脇市となるように抽出する予定ではある。若年層からの意見を多く聞きたいのであれば若年層を多めにすることは可能だが、そもそも回収率が悪い層なので、全体の回収率が落ちるデメリットがある。それらも考えながら、抽出に関しても委員の皆様のご意見をいただきたい。最後の全国自治体との比較について、今回、西脇市で初めて調査票を作成されるとのことで、いくつかの自治体を参考に調査票案の項目を作成している。先ほど会長がおっしゃった芦屋市の項目も一部参考にしている。最後の問27は静岡県裾野市も参考にしている。調査項目の内容に概ね大きな変化がない場合、結果を比較することは可能である。項目を大きく変更すると直接の比較ができなくなる。</p>
会長	<p>他いかがか。</p>
副会長	<p>アンケート項目に「特にない」がたくさん出てくる。西脇市で地域活動をしていると、「特にない」というよりも「関心がない」人のほうが多いように思う。「特にない」にする意味を教えてください。</p> <p>問11については、何を求めているのかよくわからない。「かなり減少・低下・希薄している」という悲観的な意見が最初であり、「かなり増加・濃厚・向上している」という良い意見が最後にある。こうすると、悲観的な意見に誘導がかかるのではないか。</p> <p>6ページ西脇市の「文化財を記入してください」と問われると、私も1か2つしか思い浮かばない。文化財をもっと周知するのであれば、例えば文化財が20あれば20ここに記入して「ご存知ですか」とか「行ったことがありますか」という問いかけのほうが回答しやすいのではないか。</p>
事務局	<p>まず、1点目について。「特にない」の項目が必要かどうか、後ほどSRCから集計方法について説明をいただいた後、この場でご協議願えれば有難い。</p> <p>次に、2点目について。3ページの例えば「③いじめ」「④暴力行為」等、項目によっては左側の項目のほうが悲観的ではなく改善しているとか見直されていることになる。表の作り方についてはご意見をいただきたいが、一概に悲観的なものが左にきているということではない。</p> <p>次に、3点目について。文化財について知らない方は書きようがないのはおっしゃるとおりだと思います。具体例をいくつか挙げて選択できるように修正しても良いと思っています。</p>
事務局	<p>副会長がおっしゃるように、回答しにくいことはよくわかる。担当課としても、アンケート項目について事前に確認している。文化財については、身近なものでありながら市民の皆様になかなか個別具体にご理解いただけていない部分がある。それでも、認知度の高い文化財について我々が改めて把握し、そこを切り口に市民の皆様さらに親</p>

	<p>しみをもってもらえるような施策に繋げていきたい意図がある。例示があると選択する時にバイアスがかかる可能性があり、書かなかった。本日のご意見で改善の余地があると思うが、そういう思いがあったことをご理解いただきたい。</p>
会長	<p>商品のアンケート調査で、全く例示しない純粹想起と、いくつか例示を出す場合といろいろ聞き方がある。そういう意味で、西脇市の文化財といえど何が出てくるかを知りたいということか。私は市外の者なので、何が一番目に出てくるのか参考までに教えてほしい。</p>
事務局	<p>我々としては、有形登録文化財の来住家住宅が一番認知度が高いと想定しているが、それもどうなのか知りたいところである</p>
事務局	<p>追加すると、去年国の重要文化財に指定された西脇小学校の木造校舎がある。</p>
副会長	<p>私は黒田庄なので荘厳寺の多宝塔とかが出てくる。これは観光施策と同じような流れになってくるのかもしれないが、西脇市が責任をもって文化財の認知度を上げているかどうかだと思ふ。このアンケートによって知らない方が多ければ、行政としても認知を上げていかないといけないとなるのかもしれないが、西脇市民なのに西脇市の文化財を知らないのかと捉えられると一般市民として辛いところもあるのではないか。今後観光施策に教育施策も含めて力を入れていくのであれば良いが、これは荒っぽい書き方だと思ふ。もう少し前進させて「行ったことがありますか」と問うのはどうか。先ほどの来住家は出てくるかもしれないが、西脇市に文化財と言えるものは一体いくつあるのか。</p>
事務局	<p>正確な数は確認したい。</p>
副会長	<p>ほぼで良い。私は3つほどしかわからない。</p>
事務局	<p>重要文化財は西脇小学校が初めてできたが、来住家住宅は国指定の有形登録文化財だし、ジャンル毎に区分けがあるため数字は確認したい。</p>
委員	<p>身近ではないのでさらに親しみを持ってもらうための説明だったが、こういう市の意図をアンケートに組み込むことは本来どうなのか。もう少し説明は必要ないのか。</p>
会長	<p>生涯学習に関連して聞くのはわかるが、もう少し詳しく説明したほうが良いのではないかとのご意見である。いかがか。文化財についてこのように直球に聞くことに意図はあると思うが、教育として考えたときのお考えは。</p>

事務局	最初に、文化財の数を回答する。西脇市の指定文化財26件、県指定の文化財13件が市のホームページで紹介している件数になる。文化財についての設問に前置きの説明がなくわかりづらいのは、ご指摘のとおりだと思う。ただ、他の設問もどこまで前置きで説明した後に本題に入るかは、全体のバランスをみながら考える要素がある。参考にしたい。
会長	委員、よろしいか。
委員	はい。
会長	他いかがか。
委員	2ページ問9「あなたが子どもや教育について課題と感じていることは何ですか。」について。この会議に参加する前に、課題と思うことについて何人かのお母さん達に聞いたところ、多くの人がタブレットの使用についてあげられていた。他市に比べて遅れている、各小学校、また、同じ小学校内でも各クラスによってコロナで学級閉鎖時にタブレット使用でリモートがあつたりなかつたりして、学習環境の格差を感じるとのことだった。この選択肢に「6. 家庭環境等による教育格差」はあるが、それとは別に「学校ごと、地域ごとのタブレットの活用方法」の項目があっても良いのではないか。
事務局	問9に入れるのが良いのか、趣旨がずれるかもしれないが8ページに学校教育におけるコンピュータ等の機器についての設問がある。ICT関連について他の項目でもいくつか出てくるので、そのあたりの整合性も含めてご検討願えれば有難い。
会長	いかがか。ご意見は学校、教職員による教育格差というニュアンスだと思う。「格差」という言葉自体が厳しいので、もう少しまろやかにすれば聞きやすいかもしれない。どう思われるか。
委員	小中学校では、努力があつて一気に授業での活用と家庭での活用までのICT環境については何とか整いだしたところだと思う。
委員	問11②がこれに近いことかと思う。学校としては取組を続けているところだが、もしそういう思いがあるのであれば設問に取り入れてもらうことは必要かと思った。
会長	タブレットに限定しなくてもICT環境については、保護者も含めて関心の高いところである。表現は別として、聞いたほうが良いかもしれない。教員としては「やっている。」と言うが、世間はどう見えているか聞いてみても良いと思う。いかがか。
委員	学校によつても学年によつても使い方が様々だと思っている。ある

<p>会長</p>	<p>学年によっては進んで使っているところもあるが、あまり進んで使っていないところもあるのが率直な感想である。西脇市全市で同じではないような気はしている。</p> <p>2,000名のうち4割回収されて800名とすれば、小中学校の保護者はそのうちの全てではないと思う。高齢者はICTという言葉自体がわからないかもしれないので、回答できるかどうか。そういう高齢者が回答できないような、学校の中に踏み込んだ設問はどうか。学校施設や設備等のざくっとした話であればわかると思うが、授業でのICT等についてはどのように聞けば良いか。</p>
<p>事務局</p>	<p>おっしゃるとおり、小中学校に通うお子様を持つ保護者の回答割合は全体では少なめになると思う。子どもの有無や、子どもの年代を聞いているので回答者数は少なくなるかもしれないが、クロス集計をして参考値としてお見せすることはできる。他自治体では市民に広く聞くパターンと、保護者限定に聞くパターンがある。今回西脇市は市民アンケートだが、他自治体では深い話は保護者アンケートで聞いている印象である。</p>
<p>会長</p>	<p>確かに項目を見ると、ご年配の方でも回答できるような内容になっている。そういう設問にしておいて、クロス集計で保護者の回答を見るしかないかもしれない。地域別でも見ることはできるが、数がそんなに多くないので信頼性については微妙なところである。「タブレット」等のわかりにくい表現ではなく、「情報系の機器を使った教育活動について」といった感じでまるやかに聞いて、なるべく多くの方が回答できるような設問にさせていただくのはどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>こども園等の園長会でタブレットを何台か練習用にできないかと要望を出している。そういう方向にもいっているなので、どこかで聞くほうが良いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>タブレットに限らず、情報機器に触れる機会が低年齢化している。これからは使いこなせるようになっていく必要がある。先ほどの「情報系の機器を使った教育活動について」という聞き方であれば、いろいろな年代の方が見やすいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>きつい聞き方ではなく、参考になるようなことがわかるのであれば。私もこの項目にきちんと回答できるかというところできないので、聞き方を考えてもらえれば。</p>
<p>会長</p>	<p>これはマルチアンサーになっている。文言については検討することにして、事務局で検討願えるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今日のご意見をまとめてたたき台を作成し、またご意見をいただきたい。</p>

会長	他いかがか。
委員	ヤングケアラーの問題で、問11「⑥家庭での生活体験の機会（家庭でのしつけやお手伝い等）」は違和感がある。これだと良いことをしているイメージで問われている。ヤングケアラーを見つけ出す意味で、もう少しヤングケアラーに寄った問にするほうが市民から何か聞けるのではないか。あと、「⑫地域の中での異年齢遊び」も、時代によってこういうことが良いことなのか悪いことなのかよくわからない。これを問うことで何をどう活かすのか。
会長	⑥は、非常に良いことだというニュアンスで書いてある。⑫もそうである。いかがか。今、小学校では家庭でのお手伝いについてかなり強調しているのか。
委員	ヤングケアラーの問題等もあるが、やはりこういうことができるのは望ましい、素晴らしいと。異年齢との交流も肯定的に捉えられていることが多い。問11の例えば「⑩コミュニケーション能力」や「⑨家庭と地域の結びつき」については回答者の主観で回答すると思うが、「③いじめ」「④暴力行為」「⑤不登校の児童・生徒」については、はっきり数字で出ている。これについて増えているか減っているかを問うということは、認識がずれているかどうかを問うているのか。もしくは、いろいろな課題がある中で、どの問題に興味があるかを問いたいのか。そうすると「減っているか」「増えているか」が良いのか、「とても関心がある」とか「まあまあ関心がある」という問い方をして関心度が高いものを計画に盛り込んでいくのが良いのか、どうかと試みていた。
会長	③から⑤は、数字で出ていることである。これを聞く意図は何か。
事務局	数字を公表しているかどうかはわからないが、市民の立場で取り巻く環境の変化をどう感じられているのか聞くことで、不安定で曖昧な未来を想定していく中での一つの現状把握の参考としていければというところである。ただ、おっしゃるとおり③～⑤については数字が出ているので聞く必要がないということであれば、削除することも可能である。
会長	この聞き方にすると、みんな「かなり増加している」と回答すると思う。
事務局	いじめ・不登校・暴力については、小中学校の件数のデータは持ち合わせているし公表もしている。ただし、学校別等の詳細については、センシティブなところもあるため公表はしていない。総数は公表しているので、変化はつかめることは間違いのないと思う。 それと、先ほどの「⑥家庭での生活体験の機会（家庭でのしつけやお手伝い等）」について、ヤングケアラー問題でどこまでがお手伝い

	<p>でどこからが問題か、学校現場でも難しい取り扱いをしている部分ではある。「お手伝い」とせずに「家庭でのしつけ」とすれば、ヤングケアラーと少し離れるかもしれない。「異年齢遊び」については、そう言われればそのとおりだと思う。</p>
会長	<p>意識調査なので、微妙なところである。</p>
副会長	<p>「⑫地域の中での異年齢遊び」は、市内の学校単位でも捉え方がだいぶ違ってくると思う。例えば、私が住んでいる黒田庄の桜丘小学校だったら、1年生から6年生まで異年齢集団を作って上の子が下の子を支えていく教育をやっているところもある。他の地域の小学校でも異年齢の体験学習に取り組んでいるのであれば、ピンとくる。学校ではなく地域の中での「異年齢遊び」とは、登校班が同じとかいうことでピンとくるのではないか。「異年齢遊び」の概念をもう少しわかりやすく説明すれば、回答しやすいのではないか。</p>
会長	<p>「異年齢遊び」は学校用語ではないか。</p>
委員	<p>言葉としてはもちろんわかるが、私は小学生の子どもがいないのでお母さんたちが一般的に生活の中で使う言葉としては違和感がある。話していて「異年齢」という言葉が出てくることはほとんどないと思う。</p>
委員	<p>家の近くの公園で大きいお兄ちゃんお姉ちゃんと遊ぶ場面が減っていると思うので、「異年齢との交流」ではどうか。</p>
会長	<p>でも、意味合いはわかるか。</p>
委員	<p>はい。</p>
副会長	<p>「異年齢」という言葉ではなく、平たく言えば地域で「隣の子と遊んでいますか」とか「仲良くしていますか」とかそういうことではないのか。「異年齢遊び」というと、かしこまった印象がある。もう少し柔らかい意味合いのほうを求めているのではないのか。</p>
委員	<p>夏休み中に外に出ている子どもを見たことがない。学校の授業で縦割りの交流はしていると思うが、地域で外で遊ぶことが今後なくなっていくような気がする。この設問は、そういう意味でも違和感がある。</p>
会長	<p>これは、今後と言うよりはこの数年でどうなってきたかという傾向を聞いている。ここは検討が必要だと思う。</p> <p>いじめ、暴力行為、不登校については、アンケート結果からエリア別にクロス集計が出る。アンケート結果を開示請求されれば、市民に公表する必要がある。事実であれば良いが、市民の印象で極端な差が</p>

委員	<p>出てくるのは問題のような気がする。 時間もないのでここはペンディングにしておいて、他にご質問はあるか。</p> <p>今日は認定こども園という就学前の教育の部分で呼ばれていると理解している。就学前のことについて、今回のこのアンケート自体も設問が少ない。西脇市の公立の小中学校は「学校」という括りの中で聞いてもらえると思うが、就学前となると私立でこの範疇に入らないと考えることもできると思う。こども園の中には幼稚園部と保育園部の両方あり、幼稚園部は公立になると思うので、そういう意味でアンケートに入れてもらえれば。例えば、問27に学校教育についての設問があるが、可能であれば「就学前教育」についても加えてほしい。</p>
会長	<p>8ページの設問で就学前については15と16があるが、これにもう少し突っ込んでということか。例えばどういう設問があるか。</p>
委員	<p>今すぐに思い浮かばないが、これまでは保育所は利用して遊ばせておけば良いという感覚があったと思うが、今は「教育」の部分が入ってきている。そういうことを知ってもらうことも大事だと思っている。</p>
委員	<p>同じ意見で、幼稚園やこども園の状況を尋ねる項目がないと感じた。先生達も研修を重ねて、基盤としての学びを育てるために心を砕いてくれている。そういう現実をどこで知ってもらうのか。利用されている保護者は知っていても、一般市民にはわかりにくいことだと思う。市民の皆さんに知っていただき、より幼い子ども達の教育にもう少し目を向けてもらえれば。</p>
委員	<p>0から15歳まで通した教育をしていく必要があると教育長も言われている。0から5歳までの部分での私達の務めは大切なものがあると思う。これまで家庭でされていたことが、今は全てこども園でしている状況になりつつある。そういう現実も知ってもらえれば。</p>
会長	<p>就学前教育の設問を一つ大項目で立てるか。課題を聞くのか、期待を聞くのか、あるいは現状を聞くのかはあるが。就学前教育については選択肢になっているので、問を立てるのも良いかと思う。あまり設問数が多くなると回収率が下がるので際どいところだが、一問くらいなら何とかするのはではないか。</p>
事務局	<p>最後の自由意見に丸々1ページ取っているので、これを調整できれば。</p>
会長	<p>それでは、就学前教育の設問を一つ立てることにする。 あと、いかがか。</p>

委員	2 ページの間10は9項目あるが、団体生活の適応力の低下や人との関わりに不安を感じているという項目はどうか。
会長	子どものコミュニケーション能力の低下みたいなものが項目としてあって良いということか。
委員	はい。
会長	そのとおりだと思う。それも入れる方向で検討願いたい。あと、いかがか。
委員	3 ページ問12「あなたが理想とする教師像は何ですか。」に「子どもの適性を分析し、可能性を伸ばしてくれる教師」という項目を入れてほしい。
会長	皆さんいかがか。確かにそういう教師は必要である。ただ、「分析」はきついので、「適性を把握し」くらいで良いのではないか。
副会長	6 番に関連していることがある。
会長	これはどちらかと言えば評価系である。
副会長	可能性ではないが、適正な評価というのは入っている。
会長	3つ選択するマルチアンサーになっているから、被るような設問にすると苦しい。後半部分だけ入れても良いのではないか。あと、いかがか。
委員	質問だが、先ほどの8 ページ問27に就学前の項目を増やすことに加えて、①が「学校教育」だと小中のイメージを市民が持っているということであれば、これを「学校・園での教育」とするほうが良いのか。
会長	私の理解では、そうしてしまうと小中のイメージが強くてそちらが選ばれてしまい、就学前教育の意識がなかなか出てこない。あえて別項目で取り出してみようということだが、いかがか。
委員	追加するのはそれで良いと思うが、プラスして「①学校教育」という表現を「学校・園教育」としてはどうか。文言としてそんな言葉がないのなら仕方ないが。
会長	基本は小中について聞いているのではないか。「学校・園教育」とした場合、何に力を入れたいといけないのか考えると選択できるものがごくわずかになってくる。これは小中学校をメインとしたほうが回答しやすいと思うが、いかがか。

副会長	そのほうが焦点ははっきりする。
会長	そういうことでよろしいか。 あと、いかがか。
副会長	10ページ問28の「学校・地域・家庭の連携により社会全体の教育力を高める」とはどういうことか。「学校・地域・家庭が連携するにはどのような取組が必要ですか」としたほうが落ち着くのではないか。
会長	「学校・地域・家庭の連携にはどのような取組が必要ですか」ということか。
副会長	そういうことだと思う。社会の教育力はたくさんある。トライやるウィークの趣旨は、地域にもっと子どもを放って地域の教育力を高めよう、そして社会全体で子どもを育てていこうのが最初であった。ところが、実施してみて地域に教育力がすごくあるとわかった。先生がいくら言っても無駄だったのに、地域の人たちが声掛けすると子ども達は生き生きと学校に行くようになったという声が多く出た。その地域の教育力を、もっと学校は活かしていく必要がある。
会長	「学校・地域・家庭の連携にはどのような取組が必要ですか」で良いのか。
副会長	そのほうがこの項目に合っているのではないか。
会長	社会全体の教育力と言うと、企業内教育等いろいろある。他にいかがか。
委員	「子ども達を育てていくには」としてはどうか。
会長	「学校・地域・家庭の連携により子ども達を育てていくためにはどのような取組が必要ですか」ということか。そのほうがイメージは近いのか。
副会長	そのほうがわかりやすいと思う。
会長	時間もオーバーしているので、いただいたご意見を参考にアンケートを作り直して、9月頃に日程調整し、調整できなければ持ち回りの会議で、あとは事務局と私に一任していただくということで良いか。 (委員一同異議なし)
会長	本日のご意見以外にも何かあれば、事務局に直接ご提案願いたい。

事務局	<p>○議事</p> <p>(4) 次期教育振興基本計画諮問の概要等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3に基づき説明
事務局	<p>○議事</p> <p>(5) 西脇市教育振興基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画（概要版、冊子）に基づき説明
事務局	<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こちらで資料を整理して、委員の皆様へ提示したい。2回目の会議は9月後半あたりで調整し、可能であれば開催したい。 <p>○ 閉会</p>